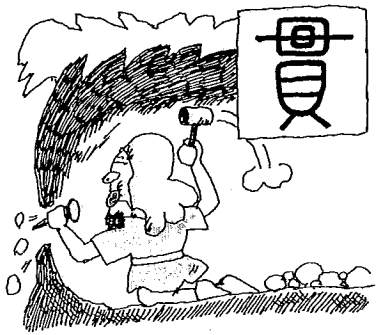
貫

11画

おん カン　くん つらぬく



なりたち 本字は毌。物の真ん中を〝貫く〟ことを表した指事字。今の字は、貨幣の意味の貝との会意形声字で、穴空き銭に紐（ひも）を貫き通すことを表したもの。今は、貫が毌の意味に用いられている。

いみとじゅくご
▼貫く。突き通す。
貫通…貫き通すこと。突き通ること。
一貫…最初から最後まで一つのやり方で貫くこと。例終始一貫
突貫…❶休まず一気にやり上げてしまうこと。例突貫工事 ❷ときの声を上げて敵陣に突撃すること。
貫流…貫いて流れること。用例大陸を貫流する河。
縦貫…縦（南北）に貫くこと。例縦貫道路
▼やり通す。
貫徹…物事をやり通すこと。例初志貫徹
▼尺貫法の重さの単位。
一貫…重さの単位。約三・七五キログラム。

慣

14画

おん カン　くん なれる・ならす

なりたち 貫と忄（りっしんべん）との会意形声字。心に貫き通すという意味の字で、物事を徹底的にやり通すことにより、〝なれる〟ことを表した字。また、〝ならす・習わし〟。

いみとじゅくご
▼慣れる。習わしとなる。
慣用…使い慣れること。普通に使われていること。例慣用句（二つ以上の言葉が一まとまりになって、特別の意味をもつもの。）
慣習…ある社会で古くから行われていて、しきたりとなっているやり方。習わし。
習慣…繰り返し行っているうちに、決まりになったこと。しきたり。用例散歩の習慣。
慣行…習わしとして行われていること。用例慣行通り実施する。
慣例…習わし。しきたり。用例慣例に従う。
慣熟…慣れて上手になること。
慣性…物理学で、外からの力が加わらない限り、現在の状態を変えないという物体の性質。

賛

15画

【5年】

おん サン　くん

なりたち 旧字体は贊。多くの人が先を争って進む意味の兆と、財貨の意味の貝との会意形声字。神徳を讃（たた）えて人が競って財貨を供えること。〝たたえる〟こと。また、〝財貨を贈って助ける〟こと。

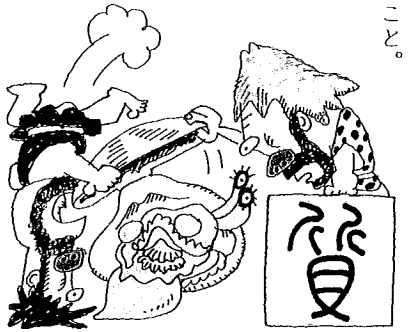
いみとじゅくご
▼ほめる。たたえる。
賛美…ほめたたえること。例賛美歌（キリストの徳をほめたたえる歌。）
賛嘆…深く感心してほめたたえること。
称賛…ほめたたえること。「賞賛」とも書く。
絶賛…この上もなくほめること。用例絶賛を博す。
賛辞…ほめたたえる言葉。
▼力をかして助ける。
賛成…人の意見に同意すること。例賛成意見
賛助…その事業の趣旨に賛成し協力すること。
賛意…賛成の気持ち。
▼絵のわきにそえて書く詩文。
自画自賛…自分のかいた絵に、自分でそえる言葉を書くという意味で、自分で自分をほめること。

質

15画

【5年】

おん シツ・シチ・チ　くん



なりたち 明らかにする意味の所（ところ）と、貝との会意形声字。貝を二つに割って貝の中味を明らかにすることを表した字。〝中身・生地〟。〝明らかにする〟こと。

いみとじゅくご
▼中味。内容。物の成り立つもと。
実質…実際の内容。例実質的
物質…❶物体を作り上げている実質。❷形があり、感覚器官で存在を知ることのできるもの。
本質…そのものの、欠くことのできない根本的な性質。
▼たち。生まれつき。
性質…その人や物の本来の特徴。生まれついてのたち。
▼生地のままで飾らない。
質実…飾り気がなくまじめなこと。例質実剛健
質素…飾り気がなく、つつましやかなこと。
▼明らかにする。ただす。
質問…わからないことや疑わしい点を問いただして明らかにすること。

よみかた 質屋・質疑・言質